

科目分類	基礎分野	学 年	2 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	現代社会論	学 期	前 期	角 能
		単 位 数	1	
		時 間 数	30	
目 的 (ねらい)	本授業では、「福祉（看護・医療）」「ケア」に関する社会現象について、社会学を中心にさまざまな理論モデルを整理したうえで解説する。			
目 標	①福祉に関するさまざまな社会的な考え方について、その共通点と相違点を自分の言葉で説明できる。 ②福祉に関するさまざまな支援の意義と限界を理解して、そのような支援が積み重なるとどのような社会につながるのか、自身が取り組む看護福祉の課題についてどのような考え方とどのような考え方のバランスをとればよいのかを想起できるようになる。			
授 業 計 画	回数	単元項目	内容	授業形態
	1. 2	福祉における現場と社会	社会学的視点から見た福祉（個人と社会・個人化とつながり・理屈と感情） 講義	
	3. 4	福祉における支援の性質	福祉におけるさまざまな支援とその性質（意義と限界）（専門知識・生活・平等）	講義
	5. 6	福祉における距離	福祉における支援の担い手と受け手との距離感 についての考え方	講義
	7. 8	福祉におけるチームケア	チームケア・連携についての考え方	講義
	9. 10	福祉のさまざまな担い手	福祉におけるさまざまな担い手による福祉の性質の違い（家族・地域・専門家・ピアグループ）	
	11. 12	地域福祉	地域を舞台とした福祉に関する考え方	講義
	13. 14	福祉と外部社会との関係、福祉の担い手と生活	社会全体の基盤となる福祉と福祉のための資源に影響を与える外部社会との関係、福祉の担い手の生活全体における福祉の位置づけを考える。 （経済・人口・ケア・労働・自己実現）	講義
15	まとめ	福祉からみた社会変動	講義	
教 科 書	適宜、プリントを配布して講義をすすめます			
参 考 文 献	必要に応じて提示します			
評 価 方 法	・ 受講態度、参加姿勢、筆記試験の成績を総合的に評価します ・ 100点満点での結果を最終評価とします			
関 連 科 目	社会福祉 公衆衛生学 看護学			

自己学習に関する指針	講義および復習によって、福祉に関するさまざまな社会学的視点を習得してください
その他の通知事項	